

(1) 実施機関名：

京都大学防災研究所

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）分野横断で取り組む大規模火山噴火災害に伴う大規模広域避難に関する研究

（英文）Interdisciplinary research on wide area evacuation in large-scale volcanic eruptions

(3) 関連の深い建議の項目：

5 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究

(5) 大規模火山噴火

(4) その他関連する建議の項目：

4 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究

(2) 地震・火山噴火災害に関する社会の共通理解醸成のための研究

(5) 令和5年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

研究課題名「災害リテラシーの育成のためのオープンサイエンス手法の検討」（DPRI14）において検討した4つの研究項目のうち、「サイエンスミュージアム阿武山地震観測所の運営による地震リテラシーの向上」および「地震・津波避難訓練「逃げトレ」の導入・運用」および「内陸地震観測満点計画・0.1満点計画によるオープンサイエンス型地震学の試行」における成果、具体的には、リスクコミュニケーションの場としてのサイエンスミュージアムや学校教育現場、ツールとしてのスマートフォンアプリやワークショップに関する成果を、本研究では火山防災、ならびに、火山噴火に伴う複合災害防災に生かす。

(6) 本課題の5か年の到達目標：

本研究は、大規模火山噴火に伴う「大規模広域避難」のための戦略を立案し、有効な避難行動の実現に向けた社会的理解と合意を促進することを目的とした分野横断的研究である。大規模火山噴火に伴う避難は、従来の災害避難にはあまり例を見ない「大規模広域避難」となることが予想されるが、それに関する研究蓄積は数少ない。しかし、桜島や富士山などで近い将来の噴火が懸念される中、「大規模広域避難」に関する研究は喫緊の重要課題となっている。本研究では、桜島が位置する鹿児島市をメインフィールドとして、地域住民、地元および周辺自治体、さらに、研究者が関与した参画型ワークショップと、サイエンスミュージアムを活用した火山災害に関するリスク・コミュニケーションを通じて、「大規模広域避難」に対する意識啓発と戦略立案の促進を図るためのアクションリサーチを実施する。

(7) 本課題の5か年計画の概要：

令和6-7年度に、効果的な「大規模広域避難」について構想し実現するための基本要件（たとえば、火山災害リテラシーの向上、噴火関連情報の整備と体系化、その普及啓発、「大規模広域避難」に関わる関係機関の事前協定など）を明確にする。また、火山災害に関するリテラシーを地震火山災害に関するサイエンスミュージアムを活用して向上させるための手法を確立する。令和8-9年度に、鹿児島市内のテストフィールドにおいて、上記の基本要件を念頭に具体的な広域避難計画を立案し、実際に避難訓練も実施する。令和10年度に、以上の成果を、富士山における広域避難計画と比較し、噴火シナリオや利用可能な情報の違い、および、周辺地域の社会経済的条件の違いが「大規模広域避難」の戦略にもたらす影響についても整理する。また、火山噴火とは異なる種類の災害に伴う「大規模広域避

難」との比較も行う

(8) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

矢守克也（防災研究所）,中野元太（防災研究所）

他機関との共同研究の有無：有

大西正光（京都大学大学院工学研究科）,山 泰幸（関西学院大学災害復興制度研究所）,竹之内健介（香川大学創造工学部）,嶋本 寛（宮崎大学工学教育学部）,吉本充宏（山梨県富士山科学研究所）,久保智弘（山梨県富士山科学研究所）

(9) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：京都大学防災研究所

電話：0774384024

e-mail：momo-san@mx5.canvas.ne.jp

URL：

(10) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：矢守克也

所属：京都大学防災研究所